



耐震等級 3

数百年に一度発生する震度7の地震力を1.5倍しても倒壊・崩壊しない。

もし、大地震が起きた際、

- ①軽い補修で住み続けられる家
- ②何とか倒壊は免れたけど大破してしまって建て直さなければならない家

この2つはその後の人生に雲泥の差があると思いませんか？

耐震等級は全部で3段階あり、「耐震等級3」が一番高い等級となります。

耐震等級1は、

「数百年に一度発生する(震度6強から震度7程度の)地震に対して、倒壊・崩壊しない。」

お家であると法律で定められており、

「耐震等級3」はその1.5倍の地震が来たとしても、倒壊・崩壊しないお家のことをいいます。

耐力壁や構造の接合部分など、数々の計算式をクリアしたお家が「耐震等級3」として認められます。

最近では、震度6強以上の地震が100年に1回どころか10年に1回の頻度で発生していますよね。

つまり、法律で定められている中で最低性能の耐震等級1では

「安心・安全なその後の人生を守るには足りない」

かもしれません。

そういった理由から善匠では「耐震等級3」が確保できるよう、設計段階から耐震性に重点を置いています。

